

事業所名

癒しの森Kidsいくの

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025年

3月

14日

法人（事業所）理念		障害のある人が、社会参加できることを誰もがごく当たり前に感じることができる地域社会を構築する					
支援方針		「できた!」という自身や喜び。「やりたい」という意欲、「どうして?」という好奇心、「楽しい」という満足感を体験することで個々の心身の成長を促す					
営業時間		10時	0分	18時	0分	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	決まった時間に学習や集団プログラムにとりくみ、来所時、退所時の流れをルーティン化することにより生活のリズムを整える。また、クッキングを通して食物や調味料に対する知識をつけ、食材により様々な料理へと変化する工程を経験することにより食育へとつなげる。そして、バランスの良い食生活を身につけ、健康的な生活が送れるようにする。					
	運動・感覚	体幹トレーニングやラジオ体操、サーキット遊びなどの運動プログラムを通して、運動能力の向上を目指すとともに説明を聞く、見る、並ぶなど一定時間の着座を促す。また、工作などを通してハサミを使う、紙をちぎる、折る、貼るなどの作業をすることにより指先の巧緻性を高めることを目的とする。					
	認知・行動	記憶カトレーニングや判断トレーニングなどを行うことによりワーキングメモリの機能向上を目指す。また、集団レクリエーションや工作、宿題などタイマーを用いることにより、次の行動への切り替えを意識し、自分がとるべき行動を確認してもらう。					
	言語 コミュニケーション	職員とのやり取りをはじめとし、集団レクリエーションにおける小集団での話し合いや職員による簡潔な言葉での説明をきく、質問をするなどの場面でコミュニケーションをとったり言葉を発する機会を作る。長期休暇には毎日音読を実施し、目や耳から刺激を受け語彙を引き出す					
	人間関係 社会性	事業所内において挨拶や食事マナー会話のやり取りなどについて学ぶ。また外出をすることにより、信号をわたるときの注意点、交通機関においては切符の買い方、社内での過ごし方について学習する。ほかに買い物体験や外食体験も行い実際に注文したりお金の支払を実施し手順やルールを理解し身につけてもらう機会をもつ					
家族支援		6か月ごとの面談以外にもいつでも相談していただける体制をとっている。また利用者のみならずご両親やご兄弟のご相談支援を行っていく			移行支援	進学、進級時のご相談をはじめ、目標の達成度にあわせた次へのステップアップのご提案、また家庭でのかわり方についての助言や相談を行っている	
地域支援・地域連携		地域の支援連絡会や近隣施設主催のイベントに参加したりしている保育園や小中学校、他事業所とも必要に応じて連絡をとり情報交換をおこなっている。			職員の質の向上	グループ内で毎月オンラインでの研修を実施し年に2~4回外部講師を招き研修している、各事業所においては毎日のミーティングにおいて振り返りを行い、定期的に管理者と1対1での面談を実施している	
主な行事等		日本の季節行事のほか、買い物体験、外食体験を行っている。月に1~2回のおでかけや各曜日にクッキングと工作を取り入れている。ビジョン、体幹、判断トレーニングやチーム対抗ゲーム、実験教室など多岐にわたり毎日来るのにわくわくするような内容となっている。					